

研究課題名	癌性胸膜炎に対するタルクによる胸膜癒着術の効果予測因子についての検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 呼吸器内科 氏名 花輪 俊弥
研究期間	(西暦) 倫理審査委員会承認後～2026年6月
研究の意義・目的	癌性胸膜炎は担癌患者の約15%で認められる合併症である。胸水貯留は呼吸困難を引き起こし、QOL低下を招く。症状緩和や胸水貯留予防を目的として胸膜癒着術が行われる。様々な薬剤が用いられているが、臨床的にタルクは頻用される薬剤の一つである。癒着効果予測因子についての研究はいくつかあるが一定した見解はない。医師による胸膜癒着術の治療効果予測の正答率は50%程度との報告もあり、十分とはいえない。そこでより高い精度でタルクによる胸膜癒着術の成功予測をするための因子解析を目的とした。
研究の方法 (対象期間含む)	データ抽出対象期間：2014年2月～2024年5月 研究期間：倫理審査委員会承認後～2026年6月 方法：当院において癌性胸膜炎に対してタルクを投与した例の血液・胸水検査、画像所見などをレトロスペクティブにカルテより抽出し、データ解析を行う後ろ向き観察研究である。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む)	①試料の採取はない。情報に関しては、個人が特定されない内容でExcel内にデータ収集を行い、統計解析を加える
②利用し、又は提供す る試料・情報の項目	②当院において癌性胸膜炎に対してタルクを投与した例の血液・胸水検査、画像所見などをレトロスペクティブにカルテより抽出した。データの対象期間は2014年2月～2024年5月である
③利用する者の範囲	③武蔵野赤十字病院 呼吸器内科 研究責任者 花輪俊弥 呼吸器内科 研究分担者 瀧 玲子
④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	④武蔵野赤十字病院 呼吸器内科 花輪俊弥 武蔵野赤十字病院 院長 黒崎雅之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 呼吸器内科 氏名 花輪俊弥 TEL：0422-32-3111 (代表) 6771 (事務局内線) FAX：0422-32-3525